

## 令和 7 年度抛出委託単価について

### ●「抛出委託単価」算出の計算式

$$\text{抛出委託単価⑤} = \frac{(\text{①想定額} - \text{②「現に要した費用」の見込金額}) \times 1/2}{\text{④特定事業者からの再商品化委託申込量の総量}}$$

**市町村への合理化抛出金は、想定額よりも「現に要した費用」が下回ってはじめて抛出されます。**

＜令和 7 年度抛出委託単価の算出根拠＞（単価・金額共 消費税抜き）

		①想定額※ (円)	②「現に要した費用」の見込額 (円)	③ = (① - ②) 差額の見込額 ×1/2 (円)	④再商品化 委託申込 見込量 (トン)	⑤ 令和 7 年度 抛 出 委託単価 (円/トン)
ガラスびん	無色	588,410,355	801,380,774	-212,970,419	85,000	0
	茶色	640,005,113	850,402,997	-210,397,884	75,000	0
	その他	1,681,877,088	1,753,741,678	-71,864,590	112,000	0
P E T ボトル		780,632,354	336,301,484	222,165,191	163,319	1,400
紙製容器包装		35,452,450	54,592,865	-19,140,414	21,241	0
プラスチック製容器包装		39,233,006,797	45,146,758,000	-5,913,751,203	809,000	0

\* 想定額と「現に要した費用」の見込額の差額、再商品化委託申込見込量、抛出委託単価は端数調整しています。  
③については、差額の見込額（①－②）が正の場合、すなわち支給原資のある場合のみ、1/2を剰じています。

### ※令和 7 年度想定額の求め方（「想定単価」×「想定量」）

		想定単価 (円/トン)	想定量 <sup>注)</sup> (トン)	想定額 (円)
ガラスびん	無色	6,315	93,176.620	588,410,355
	茶色	7,084	90,345.160	640,005,113
	その他	13,967	120,417.920	1,681,877,088
P E T ボトル		4,615	169,151.106	780,632,354
紙製容器包装		2,676	13,248.300	35,452,450
プラスチック製 容器包装	材料リサイクル(トレイ)	62,253	302.494	39,233,006,797
	材料リサイクル(トレイ以外)	59,377	529,008.285	
	ガス化	47,177	58,528.229	
	高炉還元剤化	39,364	15,743.673	
	コークス炉化学原料化	51,172	86,420.904	

注) 想定量は特定事業者負担分のみ。

以上